



「友よ 我等は」

「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください

深まった？

2学年主任 古屋 彰士

〈修学旅行記より（一部抜粋）〉

- ◆新鮮な海の香り、人々の暮らしや歴史が積み重なって生まれた文化的な香り、沖縄特有の気候の中で育つ植物の緑の香りなど、実際に自分で土地の香りを感じることができ、より深く沖縄を理解できた。
- ◆沖縄の方言は語尾を伸ばすところが甲州弁に似ていておもしろかったし、沖縄の人がかけてくれる言葉がとてもあたたかく、沖縄の文化が大事にされているんだと感じた。
- ◆授業で教わったことはほんの少しのことだったのだとわかりました。戦争で戦っている人たち以外の人々の苦しさや、日常に戦争が侵入してくる様子は、実際に目で見て、経験者に話を聞くことでしかわからないと思いました。
- ◆ただ旅行を楽しんだわけではなく、他者への配慮を心がけながら友達と行動を共にし、いろいろなことを話しながら活動できたことで、より一層多くのことを学べたし、クラスの団結力も強まったと思う。
- ◆やはり体験することでしか得られないものがあると感じた。この体験をさせてくれた沢山の方々に感謝しているし、今体験できてよかったと思う。修学旅行前の自分と今の自分とでは、知識面でも社会性の面でも大いに变化したと実感している。

.....

先週、あるオンライン会議で「自分のものの見方、感じ方、考え方を深める」といったときの「深める」とはいったいどういうことなのか、また、どういう状態になっていけば見方、感じ方、考え方が深まったといえるのか、ということが話題になりました。皆さんならどのように回答しますか？一人一人深まったといえる状態は異なるでしょうし、明確に一つの答えが導き出せる問いではないとも思いますが、今の私であれば「修学旅行から帰ってきて旅行記を記している皆さんの状態」と回答します。今回は、沖縄への修学旅行というスペシャルな体験を通してでしたが、日々の生活や授業の中でもそうした「深まり」を実感できるといいですね。

保護者の皆様におかれましては、修学旅行へのご協力ありがとうございました。生徒の皆さん一人一人に修学旅行記を作成してもらいましたので、是非ご一読いただければと思います。

1月の主な行事予定

- 12月25日(木)～1月5日(月) 冬季休業(12月29日(月)～1月3日(土)は完全閉校)
- 1月6日(火) 後期中間試験(1, 2年)
- 7日(水) 後期中間試験(1, 2年)
- 10日(土) 土曜講座
- 15日(木) ▲カセット
- 16日(金) 進研総合学力テスト、教育相談
- 17日(土) 進研総合学力テスト
- 19日(月) 第3回バイク通学者説明会(放課後)
- 20日(火) ▲カセット
- 21日(水) 登校時マナーアップ運動
- 23日(金) 第3回英検1次(本校)
- 28日(水) 大掃除
- 29日(木) 高校入試 前期募集検査(生徒休業日)
- 30日(金) ▲カセット
- 31日(土) 土曜講座





【2学年リレー通信】

2025 年から 2026 年へ

2年3組副担任 清水 美紀

皆さんは文章を書くのが好きですか。

私は大の苦手である。先月の学年主任が書いた通信を読み、次号で何を伝えればよいのか分からなくなり、そして“リレー通信”という言葉を目にし、何をリレーすればよいのかますます悩んでしまった。しかし、リレーできそうなことを思い出した。第2回定期試験後の学年集会で主任が少し触れていた「割れ窓の理論」である。年末、そして2026年を迎えるにあたり、私なりに解釈を試みたい。

割れ窓の理論とは、建物の窓が一枚割れたまま放置されると、やがて他の窓も次々に壊され、地域全体の秩序が失われていくという考え方である。小さな乱れや不注意を見過ごすことが、やがて大きな荒廃につながるという犯罪学の理論である。逆に小さな乱れをすぐに整えることで、秩序と安心感が保たれ、居心地のよい空間が生まれる。

この考え方を徹底して実践している場所の一つがディズニーランドである。園内に落ちたゴミはすぐに片づけられ、壊れた設備は迅速に修理される。キャストの笑顔や清潔な空間から、誰もが「ここは夢の国」と感じる。割れ窓の理論で言えば、園内の小さな乱れを徹底して防ぐことで、全体が魔法のような雰囲気で作られているのである。そこで、誰が夢の国を作っているのか考えてみよう。笑顔のキャストやかわいい人気キャラクターだけなのだろうか。多くは訪れるゲスト一人ひとりの心がけだと思う。

それなら、私たちも“夢の国”を作ることができる。修学旅行も終わり、これからは進路という現実に向き合わねばならない。不安や悩みを抱える人も多いだろう。しかし、一見受験とは関係ないと思われる、机の上を整える、挨拶をする、身近な出来事を丁寧に扱う、辛いときだからこそ友達に思いやりを持つ——そうした小さな積み重ねが安心や信頼を生み、困難を乗り越える環境を作ってくれと信じていたい。受験は団体戦と言われる。“みんなで頑張ろう！”という環境と雰囲気を作ることが受験を乗り越える力になるはずだ。

割れ窓理論は決してマイナスの理論ではない。「小さな秩序を守ることが大きな幸福につながる」という前向きな考え方ができる。2025年も残りわずか。皆さんも学校や家庭で大掃除をするだろう。環境も心も整え、新たな気持ちで高校3年生となる2026年を迎えたい。ディズニーランドの輝く空間は、私たちの生活にも応用できるヒントを与えてくれていると思う。

